

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-50	小学校	国語科	書 写	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 303	小学 書写 三年		

1. 編修の基本方針

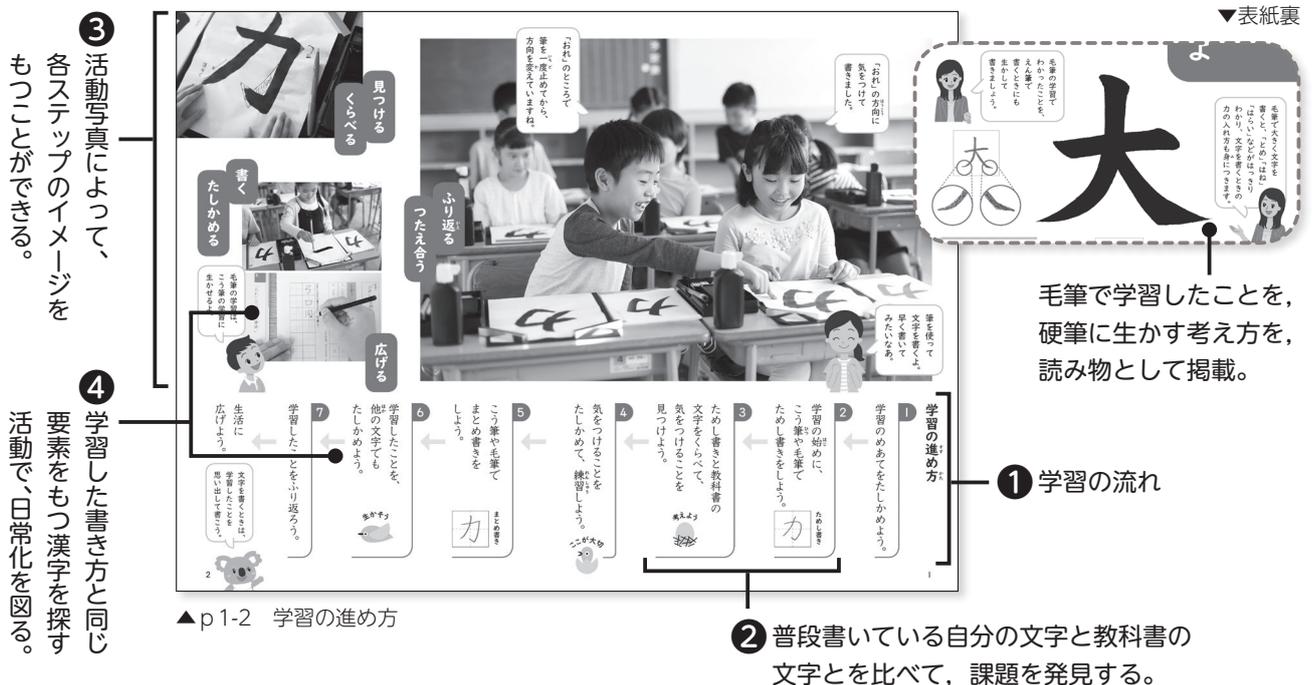
文字を整えて書くための原理・原則を理解し、自分の課題と向き合って練習する過程をとおして、子どもたちは「学び方」を身につけます。

相手にわかやすく伝えるための書き表し方について考え、工夫する過程をとおして、子どもたちは「伝え方」を身につけます。

本書は、教育基本法に示された教育の目的（第一条）および目標（第二条の第1～5号）の実現に向けて、「学び方」と「伝え方」を軸に、生涯にわたって豊かな文字の使い手となるような教材を選定・構成しています。

① 「どのように学ぶか」の見通しがもてる

●全学年に「学習の進め方」を収録しました。子どもの書字例や活動写真例を示すことで、自分の課題を解決していくための具体的な方法がわかり、意欲的・主体的に学習できます。



② 毛筆学習の基礎となる「用具の扱い方」「よい姿勢と持ち方」の習得

- 準備から後片付けまでの手順がわかりやすく、用具の扱い方が丁寧に示されていることで、子どもが主体的に活動でき、用具の扱い方の習慣化が図れます。

▼p4-5

ペットボトルや反故紙の活用など、使用する用具を具体的に例示。



▲p10

「毛筆学習の肝」である、墨の扱い方、筆をよい状態に保つ方法を丁寧に解説。

1 はじめの学習 用具のおき方

毛筆用具の名前と、おき方やあつかい方をおぼえよう。

筆

- 筆のキャップはすてる。使用後に付けると筆をいためる。
- 新しい筆は、「ほ」をほくしてから使う。筆を回しながら、ほ先から少しずつほくす。
- 小筆は、ほ先から、半分より少なめにほくす。

ほくす。ほ先から、半分より多めにほくす。

やさしく、ほくす。

教科書
左手で筆を持つ人は、教科書と用具を、左右反対においてもよい。

下じき
ぶんちん
はん紙
つるつるしている面が表

ぼくえき
えん筆

すみ
すみの持ち方とすり方
→ 52 ページ

大筆
小筆
小筆で書こう
→ 52 ページ

すずり
ほ先を整える「りく」が手前になるようにおく。

すずり

うみ
すみを入れる所。

りく
ほ先を整えたり、すみをすったりする所。

ぼくえきの入れ方

- すずりに近づけて入れる。
- ぼくえき
- すずり
- 使うようだけ入れる。
- 入れたあとは、キャップをしっかりとめる。

筆にすみをふくませる

すみがばたばたたれそうだね。

すみを整えよう。

すみを整えよう。

- よい姿勢を保つには、腰を起こし、背筋を伸ばすことが大切です。体幹を整えるために合言葉を唱えることで、よい姿勢を習慣化できるようになります。

2 よいしせいと筆の持ち方をおぼえよう。

筆の持ち方

一本がけ

中指と小指をそろえる。

中指でささえ、小指でささえ、すき間をあける。

二本がけ

中指でささえ、小指をそろえる。

中指でささえ、小指でささえ、すき間をあける。

小筆の持ち方

筆を持つ手は、半紙の上に軽くのせる。

えん筆よりも立てて持つ。

紙を軽くおさめる。

えん筆の持ち方

すき間をあける。

えん筆の、けずつあるところが、見えるように持つ。

指に力を入れすぎない。

くらべてみよう

じくせ、立つていゝのは、どっちか？

よいしせい

- 1 こしびん
- 2 べう一つ
- 3 足べた

よいしせいの合い言葉

- 1 こしびん
- 2 足べた
- 3 べう一つ

よいしせいと筆の持ち方をおぼえよう。

うて全体で書く。

紙を軽くおさえる。

ひじを上げる。

1 こしびん

2 足べた

3 べう一つ

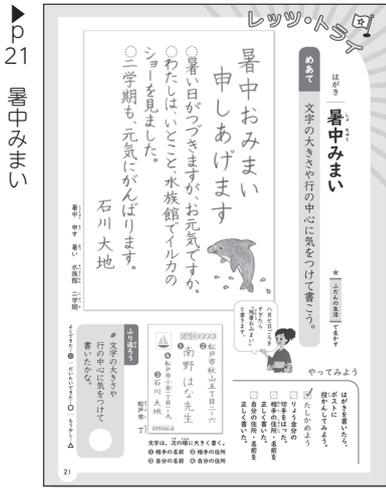
足のうらをつかにつけて、少し開く。

鉛筆の持ち方と比較することで、筆を持つときに注意する点がわかる。

▲p6-7

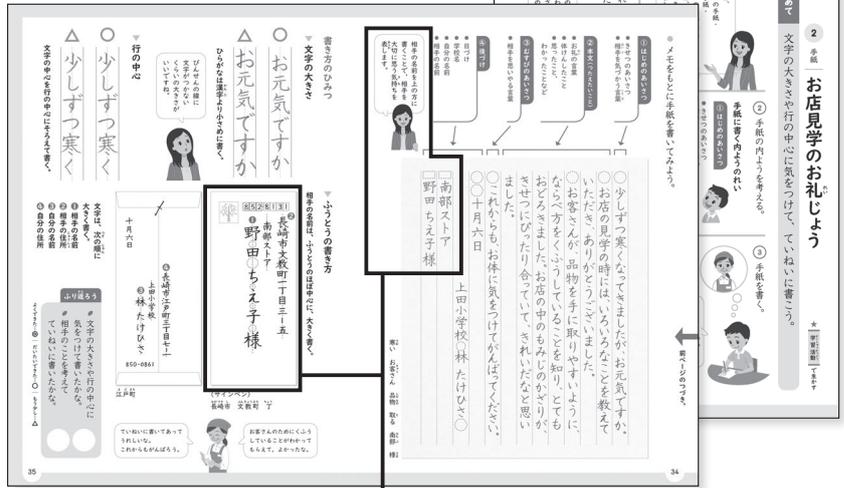
③ 書いて伝え合う心を育てる

- 全学年に手紙やはがきの書き方を収録することで、学年の発達段階にふさわしい伝える力を育てていきます。3年生では、国語の言語活動例と関連を図りながら、手紙を書く手順や、相手意識をもった書き方について学習します。



季節のはがきを書くことで、日本の伝統文化にふれます。

▼p33-35 お店見学のお礼じょう



相手に敬意を払う意味で、相手の名前を上の方に書いたり、大きく書いたりすると知ること、手紙の書式と相手意識との関係に気づくことができます。

④ 子どもの文字環境を豊かにする

- 文字への興味・関心を高める教材は、各学年の発達段階に応じた題材を設定することで、子どもの実感をともなった知識・理解につながります。
- 書き初めの行事をとおして、日本の伝統と文化への関心が高められるようにしました。



はじめて毛筆にふれる3年生の興味・関心に合わせて、筆について理解を深めるコラムを設けています。

▼p51



▲p50 書き初めの由来をコラムで掲載しています。

▼p53-56



2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
1 はじめの学習	<ul style="list-style-type: none"> ● 運筆しやすい姿勢・執筆法が定着するよう、よい筆記用具の持ち方と姿勢を丁寧に解説し、児童の健康に配慮しました。〈第1号〉 ● さまざまな運筆線を書く活動をととして、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。〈第1号〉 	p4-10
2 「横画」の筆使い 3 「たて画」の筆使い 4 「はらい」の筆使い 5 「おれ」と「はね」の筆使い 6 ひらがなの筆使い 7 「曲がり」と「おれ」の筆使い 8 学習のまとめ 書きぞめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎・基本となる書写の知識・技能を習得することで、幅広い知識と教養になるように配慮しました。〈第1号〉 ● 確かな書く力を身につけることにより、主体的に社会の形成者として寄与する態度を養えるように配慮しました。〈第3号〉 ● めあてを確かめて、その結果を評価する活動を継続することで、自主及び自律の精神を養うようにしました。〈第2号〉 ● 穂先の通り道が理解しやすい朱墨の図版を提示することで、適切に運筆する能力を高めるように配慮しました。〈第1号〉 ● 教材の児童名、キャラクターの男女比に配慮しました。〈第3号〉 ● 教材の言葉、文章として、生命を尊ぶ心の育成や、自然環境を意識できるように配慮しました。〈第4号〉 ● 書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章を選定しました。〈第1号、5号〉 	p11-15, 17-20, 24-29, 36-44, 50-56
毛筆の学習が始まるよ	<ul style="list-style-type: none"> ● 「学習の進め方」を提示することで、児童が意欲的・主体的に学習する能力を高められるように配慮しました。〈第2号〉 	表紙裏-p2
書きぞめ 【知りたい 文字の世界】 筆について知ろう 【レッツ・トライ】 暑中みまい 俳句	<ul style="list-style-type: none"> ● 書き初めの言葉として、『正月』『友だち』を書くことや、書き初めの由来にまつわるコラムによって、日本の伝統と文化への関心が高まるようにしました。〈第5号〉 ● 日本の伝統工芸である「筆の作り方」を知ることによって、我が国の伝統と文化を尊重できるように配慮しました。〈第5号〉 ● 暑中見舞いを書く活動によって、日本の伝統的な慣習について知り、関心が高まるようにしました。〈第5号〉 ● 俳句を書く活動をととして、日本の伝統と文化を体感できるようにしました。〈第5号〉 	p50-56, 16, 21, 32
毛筆の学習が始まるよ こう筆の学習 筆順と字形 【レッツ・トライ】 暑中みまい お店見学のお礼じょう セーフティ教室の作文 てらん会作品のカード 【知っておこう】 ローマ字表 【書いて つたえ合おう】 メモを取ってまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習の成果が認め合えるような教材を設けました。〈第3号〉 ● グループで課題解決を行うことをととして、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うように配慮しました。〈第2号〉 ● はがきや手紙の書き方を習得することで、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。〈第1号〉 ● 学習した内容を、他教科や学校生活に生かしていく力を身につけるよう配慮しました。〈第2号〉 	表紙裏-p2, 30-31, 21, 33-35, 22-23, 47, 48-49

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

●ユニバーサルデザイン (UD) による多様性への配慮

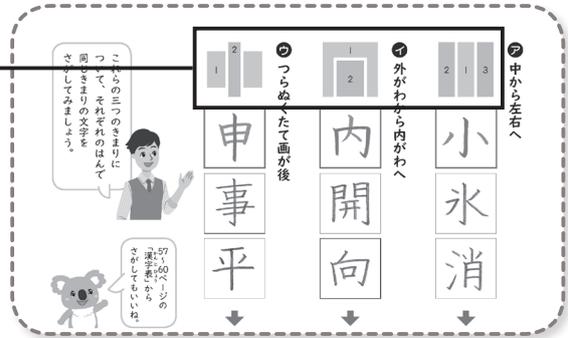
○カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応

色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字 (ユニバーサルデザインフォント) などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

色覚の個人差を問わず、より多くの人に、見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れています。



▲p50



▲p31

○「パラリンアート」の取り組み

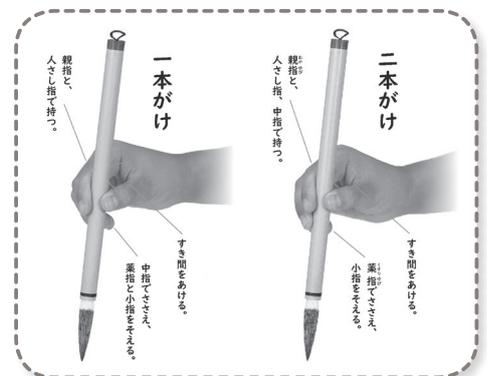
さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品 (障がい者アート) を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

●地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

●堅牢な造本

- ・表紙には撥水コーティングを施し、墨や汚れに強い堅牢な造本となっています。
- ・裏表紙の氏名欄は型抜き加工がされているため、どんな筆記用具でも書き込むことができます。
- ・裏表紙では、全学年において、鉛筆・筆の持ち方の図版や写真を取り上げており、いつでも確認できます。



▲3年裏表紙 筆の持ち方

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-50	小学校	国語科	書 写	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	書写 303	小学 書写 三年		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 学びやすく、教えやすい紙面構成

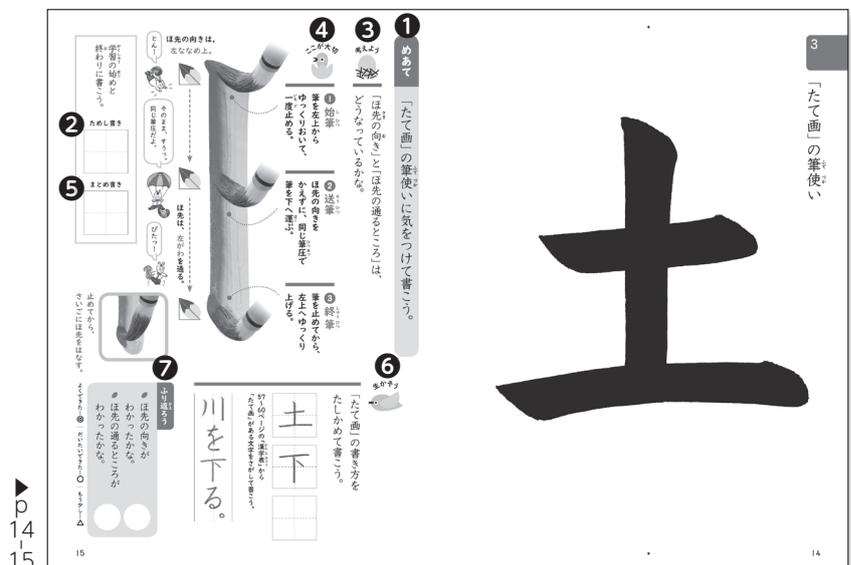
- 「めあて」→「文字を書く原理・原則の理解」→「言葉を書いて応用を図る」→「振り返る」までの流れがわかりやすい紙面構成です。
- ・ 紙面で使用する色数を絞ることで、文字に注目できる、落ち着いたレイアウトです。

日常生活への活用場面

書写学習の基礎・基本の習得場面

習得した書く力を、
他の学習や、日常生活に
活用する力を養う。

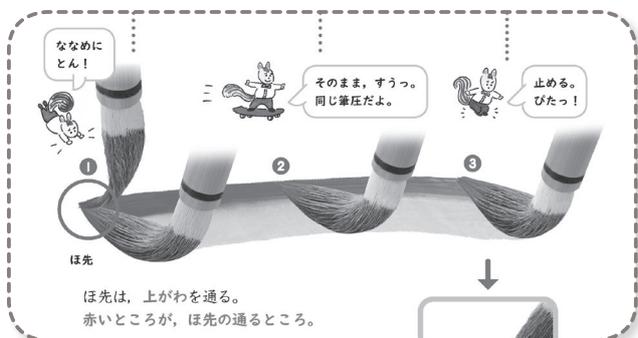
- ① **めあて**
学習のめあてを確かめる。
- ② **ためし書き**
学習の始めに、硬筆や毛筆でためし書きをする。
- ③ **考えよう**
課題発見のための観点を
知る。
- ④ **ここが大切**
基準確認をする。自分の
めあてを確かめて練習する。
- ⑤ **まとめ書き**
硬筆や毛筆でまとめ書き
をする。
- ⑥ **生かそう**
学習したことを、他の文
字でも確かめる。
- ⑦ **振り返ろう**
学習したことを振り返る。



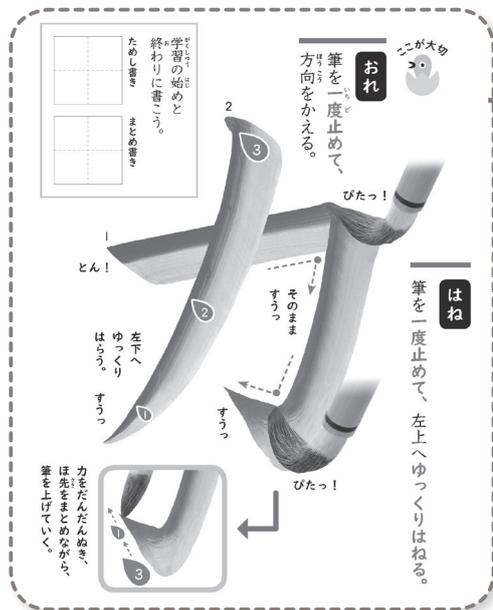
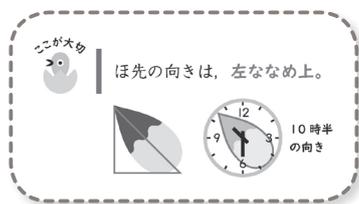
▶ p 14, 15

② 運筆リズムを体感し、適切に運筆する能力を高める

● 運筆を「とん・すうっ・ぴたっ」などの共通した音声で表す、運動の様子で表す、朱墨と薄墨の図版で穂先の通り道を明快に示すなど、想像力に働きかけたり、視覚にうったえたりしながら、運筆のリズムを体感できるようなイラストや図版を提示しています。



▲p12▶



▶p25

③ 「主体的、対話的で深い学び」につながる学習活動

● 文字を書くときの原理・原則が理解しやすい図版、文字を見るとき視点、他の文字への応用を図る手だて、友だちと伝え合う活動のための語彙など、「理解」「比較・分析」「活用」「伝え合い」の活動を支える学習材を豊富に掲載しています。

知識・理解（振り返り）

思考・判断

対話的な学び

活用

① つらめくたて画が後

申	内	小
事	開	氷
平	向	消

② 外がわから内がわへ

牛	同	水
半	間	楽
車	肉	赤

③ 中から左右へ

十	州	上から下へ
---	---	-------

これまでに学習した筆順の大ききまり

横から左へ

左から右へ

上から下へ

筆順に気を付けて、字形を整えて書こう。

筆順と字形

めあて

こう筆の学習

筆順と字形

筆順は、文字を書くときに点や画を組み立てていく順番のこと。

筆順が正しいと、文字の形が整えられ、濃度の多文字も、形よく書くことができます。

他に、「上から下へ」横からたての大ききまりで書かれた文字もあてはまってみよう。

学習した筆使いを比較・分析する。

たしかめよう

どの筆使いがよいか。よいものに○をつけよう。(12ページでたしかめよう。)

① 始筆

ほ先の向きは、左ななめ上。

② 送筆

同じ筆圧。

③ 終筆

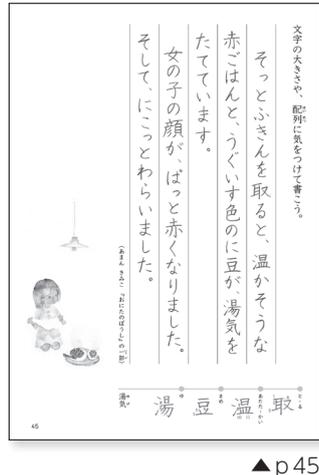
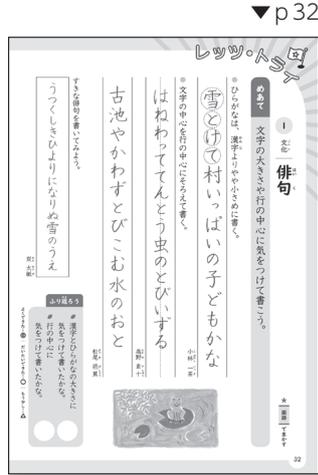
ほ先の向きに気を付けて、左上へゆっくり上げる。

▲p30-31

▲p13

④ 国語力の基礎を養う

- 国語で学習した教材を書写で視写することで、内容をより深く味わうとともに、豊かな言語感覚を養います。



- 国語「B 書くこと」の言語活動例と対応した活動を設けています。

ア 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。

イ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動。



⑤ 他教科での活動や言語活動のなかで生かせる「活用」を身につける

- 身につけた書写力が、学校生活や学習活動の「どの場面」で生かせるのかが、すぐにわかるように構成されています。

▼ p46 ローマ字表 (国語)

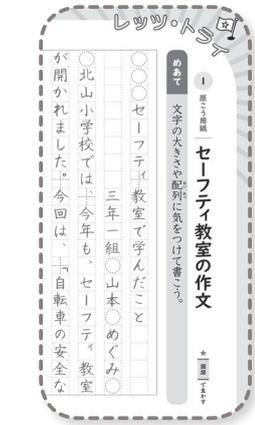


ローマ字の手書き文字を提示することで、書くときの留意点を理解できます。

▼ p47 手書き文字と活字

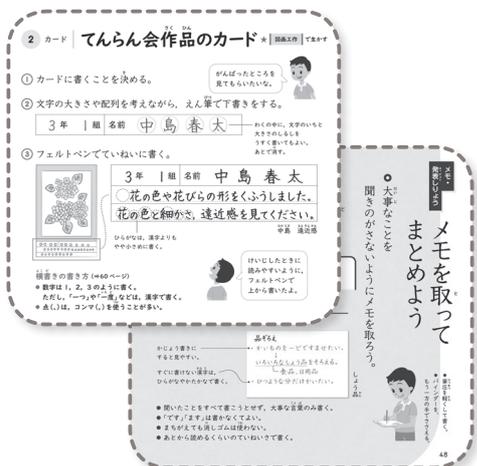


コンピューター入力を体験し始める3年生の段階で、手書き文字と活字の違いを考えるコラムを設けています。



▲ p22 セーフティ教室の作文 (国語)

▼ p23 てらん会作品のカード (図画工作)

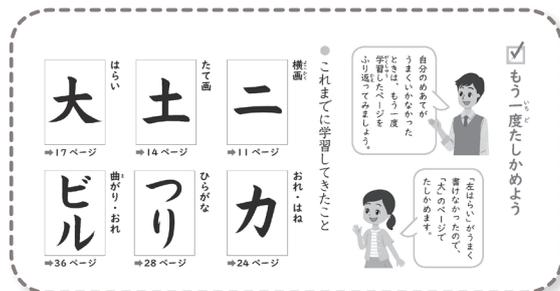


▲ p48-49 メモを取ってまとめよう (社会)

⑥ その他の配慮事項

●「何ができるようになったのか」を確かめる

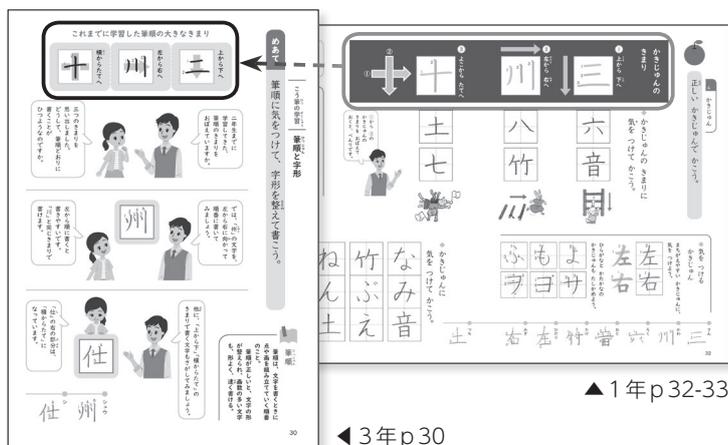
学習のまとめ教材に取り組むなかで、うまくいかなかったところについて、学習してきた各教材を振り返ることで、習得できる構成になっています。



p44▶

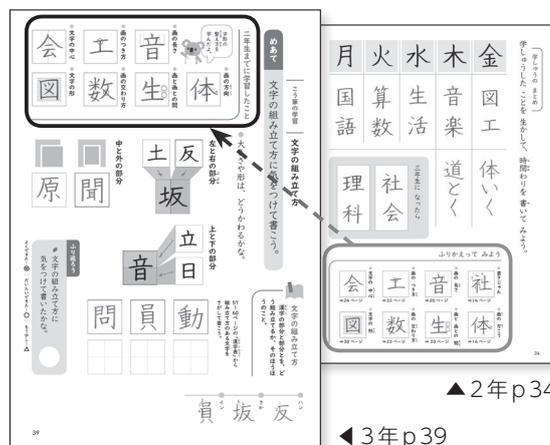
●学年間の円滑な接続

学年をまたいで共通の図版を用いたり、既習事項を次学年に再掲したりすることで、学習したことを振り返り、確実な定着を図ります。



▲1年p32-33

◀3年p30

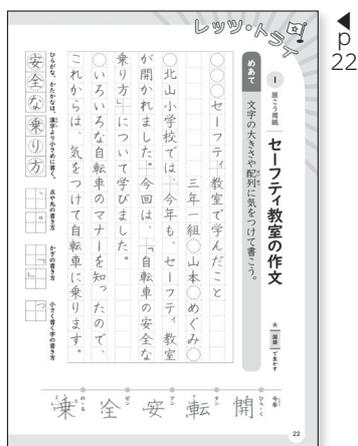


▲2年p34

◀3年p39

●安全・安心への意識を高める

セーフティ教室を題材にした作文を例示することで、原稿用紙の書き方を学習するとともに、安全・安心についての意識を高めます。



p22

●程度・分量

内容と程度は、子どもの発達段階や語彙・言語環境などを考慮して、言葉としても適切で、書写の学習要素が理解しやすい文字や語句を選んで教材化しています。語句を書くことで、日本の伝統文化のよさを感じ、豊かな心を育むような言葉を選定しています。



▲p14



▲p28



▲p42

●漢字の字体については、学習指導要領に示された字体を拠りどころにし、穏健・中正で書きやすく、子どもに親しみやすいものとしています。

●教材の分量は、年間30～35単位時間程度で、指導事項を過不足なく効率的に学習できるようにしています。

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

エ 書写に関する次の事項を理解し使うこと。

(ア) 文字の組立て方を理解し、形を整えて書くこと。

(イ) 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。

(ウ) 毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
毛筆の学習が始まるよ／学習の進め方	ア イ ウ	表紙裏～p2	2
目次	ア イ ウ	p3	
1 はじめの学習	ア ウ	p4～10	
2 「横画」の筆使い	ア ウ	p11～13	2～3
3 「たて画」の筆使い	ア ウ	p14～15	2
知りたい文字の世界「筆について知ろう」	ア ウ	p16	適時
4 「はらい」の筆使い 大	ア ウ	p17～19	3
こう筆の学習 「はらい」	ア	p20	
レッツ・トライ「暑中みまい」	ア イ	p21	1
レッツ・トライ「セーフティ教室の作文」	ア イ	p22	1
レッツ・トライ「てんらん会作品のカード」	ア イ	p23	
5 「おれ」と「はね」の筆使い	ア ウ	p24～26	3～4
こう筆の学習 「おれ」と「はね」	ア	p27	
6 ひらがなの筆使い	ア ウ	p28～29	3～4
こう筆の学習 筆順と字形	ア	p30～31	
レッツ・トライ「俳句」	ア イ	p32	1
レッツ・トライ「お店見学のお礼じょう」	ア イ	p33～35	1
7 「曲がり」と「おれ」の筆使い	ア ウ	p36～37	3～4
こう筆の学習 「曲がり」と「おれ」	ア	p38	
こう筆の学習 文字の組み立て方	ア	p39	
点画のしゅるい	ア ウ	p40～41	4
8 学習のまとめ	ア イ ウ	p42～45	
知りたい文字の世界「手書き文字」と「活字」	ア イ	p46	適時
知っておこう ローマ字表	ア イ	p47	
書いてつたえ合おう「メモを取ってまとめよう」	ア イ	p48～49	
書きぞめ	ア ウ	p50～56	4～5
漢字表 三年生で学習する漢字 二年生で学習した漢字	ア イ	p57～60	適時
横書きの書き方	ア イ	p60	
ひらがな表 かたかな表	ア イ	p61	
		計	30～35